

I 施設の概要		施設コード	S05-02-01			
施設名	ふるさと文化館					
所在地	南千住六丁目63番1号（南千住図書館併設）					
部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容（単位：千円）			
			国・都	区債	一般財源	
	建築	平成9年	1,485,843	0	0	1,485,843
	増改築①					
	増改築②					
併設施設						
竣工年月日	平成10年5月1日		区職員	その他		
供用開始年月日	平成10年5月1日	職員数	11	0		
構造	鉄筋コンクリート造	階層	地上4階、地下1階			
面積	敷地面積			2,724 m ²		
	延床面積			2,585 m ²		
設置目的・経緯	区民の生涯学習の振興並びに荒川区における教育、学術及び文化の発展に寄与するため					
関連部署						
根拠法令等 設置条例	荒川区立荒川ふるさと文化館条例					
駐車場の状況	8台	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ		
駐輪場の状況	80台	対応状況	○点字ブロック	○スロープ		



管理形態	直営	-	期間	-	から	
事業内容	①荒川区の考古、歴史、民俗等資料の収集及び保存②常設展示及び特別展示事業（企画展等）③資料の専門的な調査研究④文化財の保存及び活用⑤郷土学習のレファレンス（資料紹介や学習アドバイス、団体見学対応等）⑥教育、学術及び文化の振興に関する事業（各種講座）⑦伝統技術の保護と育成（あらかわ学校職人教室、伝統技術展、荒川区伝統工芸技術継承者育成事業、伝統工芸ギャラリーの運営等）					
対象者	区民全般・荒川ふるさと文化館利用者等					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）				
	休日	月曜日（祝日、振替休日の場合は翌日）、毎月第2木曜日、年末年始（12月29日～1月4日）、館内整理日				
施設基本データ等		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
	観覧者数（有料）（人）	2,022	3,085	3,029	3,158	851
	観覧者数（無料）（人）	7,761	9,483	4,966	4,495	665
	観覧者 合計（人）	9,783	12,568	7,995	7,653	1,516
	伝統工芸ギャラリー入場者（人）	16,040	17,122	11,200	10,563	2,026
	視聴覚室（件）	14	7	8	7	0
	研修室（件）	15	16	19	17	0
	開館日数（日）	283	296	294	291	51
に指定 に係る 管理 費理						
備考	令和6年度は大規模改修工事基本設計を策定した。令和7年度は実施設計と共に、文化館の展示室及び伝統工芸ギャラリーの展示設計も併せて策定した。令和8年度大規模改修工事着工予定。令和8年6月より休館。					

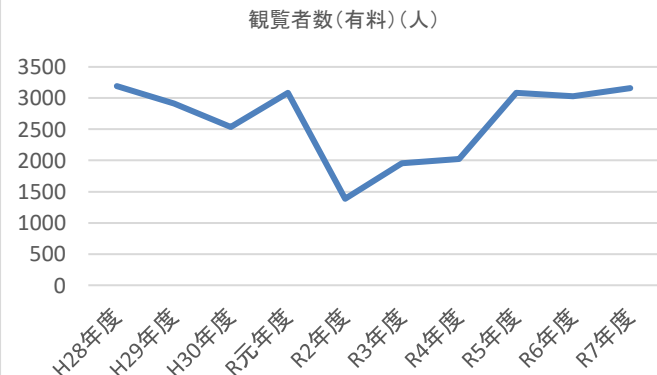
		勘定科目			R6年度	R7年度	差額			勘定科目			R6年度	R7年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	65,530	75,197	9,667	行政収入	地方税等	0	0	0	国庫支出金	3,025	5,083	2,058	
		物件費	79,796	79,314	▲ 482		都支出金	1,513	1,891	378					
		維持補修費	1,108	2,444	1,336		分担金及び負担金	0	0	0					
		扶助費	0	0	0		使用料及び手数料	332	354	22					
		補助費等	9,034	10,121	1,087		その他	474	409	▲ 65					
		減価償却費	41,000	41,000	0		行政収入合計(a)	5,344	7,737	2,393					
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 197,587	▲ 207,371	▲ 9,784					
		賞与・退職給与引当金繰入額	6,463	7,032	569		金融収支差額(d)	0	0	0					
		その他行政費用	0	0	0		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 197,587	▲ 207,371	▲ 9,784					
		行政費用合計(b)	202,931	215,108	12,177		特別収入(f)	0	0	0					
特別費用(g)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 197,587	▲ 207,371	▲ 9,784								
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0												
		勘定科目			R6年度	R7年度	差額			勘定科目			R6年度	R7年度	差額
貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	流動負債	3,180	3,485	305	還付未済金	0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0					
		その他の流動資産	0	0	0		賞与引当金	3,180	3,485	305					
	固定資産	有形固定資産	409,378	368,649	▲ 40,729		その他の流動負債	0	0	0					
		土地	0	0	0		固定負債	24,809	30,260	5,451					
		建物	1,497,414	1,497,414	0		特別区債	0	0	0					
		建物減価償却累計額	▲ 1,088,036	▲ 1,128,765	▲ 40,729		退職給与引当金	24,809	30,260	5,451					
		工作物等	0	0	0		その他の固定負債	0	0	0					
		工作物等減価償却累計額	0	0	0		負債の部合計	27,989	33,745	5,756					
		無形固定資産	0	0	0		正味財産	658,485	676,663	18,178					
		建設仮勘定	20,416	81,044	60,628		正味財産の部合計	658,485	676,663	18,178					
	その他の固定資産	256,680	260,715	4,035	負債及び正味財産の部合計		686,474	710,408	23,934						
	資産の部合計	686,474	710,408	23,934											

備考 行政収入は、国庫支出金、都支出金の他、使用料及び手数料としてふるさと文化館観覧料等、その他収入として有償頒布物代金がある。

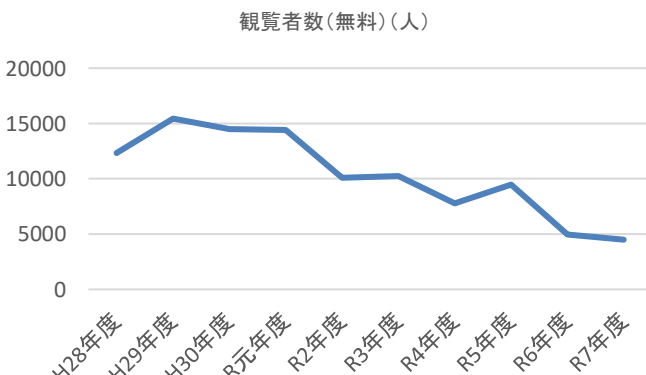
	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	67	70	73	75.4	
	1㎡当たりコスト（円）	78,183	73,165	78,516	83,227	
	来館者1人当たりコスト（円）	12,597	11,801	13,882	15,701	
	開館一日当たりコスト（円）	714,031	682,672	528,803	569,928	
備考	前年度と比較して1㎡当たりのコストが減少したのは、主に行政コストの減少したことなどによる。来館者一人あたりのコストや開館一日当たりのコストが増加したのは、来館者数や開館日数が減少し、一人あたりの行政コストが増加したことによる。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無 ○ 有 （計画名： ）					
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	観覧者数（人）	目標値	15,000	18,000	20,000	14,000
		実績値	16,040	17,122	11,200	10,563
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他（ ）					
管理形態の変更の推移	○ 有 （変更内容： ） ● 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	○老朽化が著しい空調設備、照明設備、給排水設備等の改修工事を早急に実施する必要がある。 ○改修工事にあわせて、社会環境や利用者のニーズの変化を踏まえ、展示室及び伝統工芸ギャラリーのリニューアルを行う必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○快適で居心地の良い安心安全な施設のリニューアル改修に向けて老朽化やバリアフリー対策を進めると共に、歴史と文化を楽しく学び探求する展示室や伝統工芸品の魅力を発信する伝統工芸ギャラリーの充実を図る。					
議会、利用者等からの意見	・平成28年度 予特 伝統工芸ギャラリーについて ・平成29年度 決特 ふるさと文化館の名称変更、施設の位置付け等について ・令和6年度 6月会議 荒川ふるさと文化館・南千住図書館の大規模改修について ・令和7年度 予特 荒川ふるさと文化館リニューアルに係る展示構成について					



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時閉館し、観覧者数（有料）が減少した。4年度は特定天井撤去工事に伴い3ヶ月余り休館した。



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時閉館し、観覧者数（無料）が減少した。4年度は特定天井撤去工事に伴い3ヶ月余り休館した。

I 施設の概要		施設コード		S05-02-02		
施設名		生涯学習センター				
所在地		荒川三丁目49番1号				
部課名		地域文化スポーツ部生涯学習課				
施設の履歴		時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
				国・都	区債	一般財源
		建築	昭和45年			
		増改築①	平成8年	303,300		
		増改築②				
併設施設		教育センター				
竣工年月日		昭和45年		区職員	その他	
供用開始年月日		平成9年	職員数	8	15	
構造		RC造	階層	4階		
面積		敷地面積	6,766.09 m ²			
		延床面積	2,970.35 (4530.36m ² のうち) m ²			
設置目的・経緯		区民の生涯にわたる学習の場の提供や講座の開催、生涯学習の情報提供、学習相談など、学習活動の推進を図る。				
関連部署		文化交流推進課、教育委員会事務局教育センター、福祉部高齢者福祉課				
根拠法令等 設置条例		荒川区立生涯学習センター条例・施行規則				
駐車場の状況		1台	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況		50台	対応状況	○点字ブロック	●スロープ	



管理形態	直営	-	期間	-	から
				-	まで
事業内容	荒川コミュニティカレッジ、生涯学習講座、一般教養講座（区民カレッジ）、専修学校連携講座、学習・地域活動に関する相談支援、生涯学習情報提供				
対象者	荒川区内在住・在勤・在学者等				
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時			
	休日	年末年始、館内整備等による臨時休館			

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
施設基本データ等	利用者数（人）	100,336	100,887	89,533	95,097	104,600
	利用件数（件）	5,381	6,156	5,868	6,370	7,100
	区民カレッジ講座数	56	46	43	45	45
	区民カレッジ受講者数	2,440	1,836	738	1,279	1,400
	I T講習会参加者数	692	—	—	—	—
	I T自習室参加者数	769	—	—	—	—
	貸室稼働率	59	62	63	64	65
に指定管理に係る費用等	指定管理料（千円）	62,056	0	0	0	
	指定管理者の支出合計（千円）	60,935	0	0	0	
	指定管理者の人件費（千円）	21,330	0	0	0	
	指定管理者の利用料金収入（千円）	1,140	0	0	0	

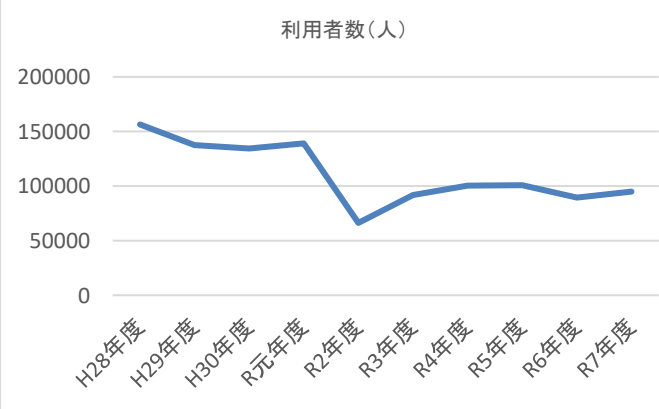
備考	令和5年度から施設管理が直営となった。令和6年度は給排水衛生設備改修工事実施による貸室利用の制限があり、利用者数や区民カレッジ受講者数等の減につながった。令和7年度は、利用件数が増加傾向にある。
----	---

		勘定科目	R6年度	R7年度	差額			勘定科目	R6年度	R7年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	47,966	55,060	7,094	行政収入	地方税等	0	0	0	
		物件費	64,107	67,133	3,026		国庫支出金	0	0	0	
		維持補修費	3,531	4,340	809		都支出金	0	0	0	
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0	
		補助費等	1,035	1,171	136		使用料及び手数料	2,062	2,223	161	
		減価償却費	934	11,785	10,851		その他	879	862	▲ 17	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	2,941	3,085	144	
		賞与・退職給与引当金繰入額	4,731	5,149	418		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 119,363	▲ 141,553	▲ 22,190	
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	▲ 4	▲ 3	1	
		行政費用合計(b)	122,304	144,638	22,334		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 119,367	▲ 141,556	▲ 22,189	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0				
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 119,367	▲ 141,556	▲ 22,189				
		勘定科目	R6年度	R7年度	差額			勘定科目	R6年度	R7年度	差額
貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	流動負債	3,602	3,826	224	
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	1,274	1,275	1	
	固定資産	有形固定資産	247,503	235,718	▲ 11,785	賞与引当金	賞与引当金	2,328	2,551	223	
		土地	35,226	35,226	0		その他の流動負債	0	0	0	
		建物	384,319	384,319	0		固定負債	24,539	27,261	2,722	
		建物減価償却累計額	▲ 174,262	▲ 185,998	▲ 11,736	特別区債	6,379	5,104	▲ 1,275		
		工作物等	20,213	20,213	0	退職給与引当金	18,160	22,157	3,997		
		工作物等減価償却累計額	▲ 17,993	▲ 18,041	▲ 48	その他の固定負債	0	0	0		
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	28,141	31,087	2,946		
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	223,612	208,881	▲ 14,731		
		その他の固定資産	4,250	4,250	0	正味財産の部合計	223,612	208,881	▲ 14,731		
	資産の部合計	251,753	239,968	▲ 11,785	負債及び正味財産の部合計	251,753	239,968	▲ 11,785			
備考	行政費用では物件費が多くかかっている。物件費には、受付管理業務委託や清掃委託、各種点検委託等委託費44,699千円を含んでいる。維持補修費には、会議室等3か所の空調機器更新の家屋等修繕費2,035千円が含まれている。減価償却費の増は、令和6年度に実施した給排水衛生設備改修工事によるものである。										

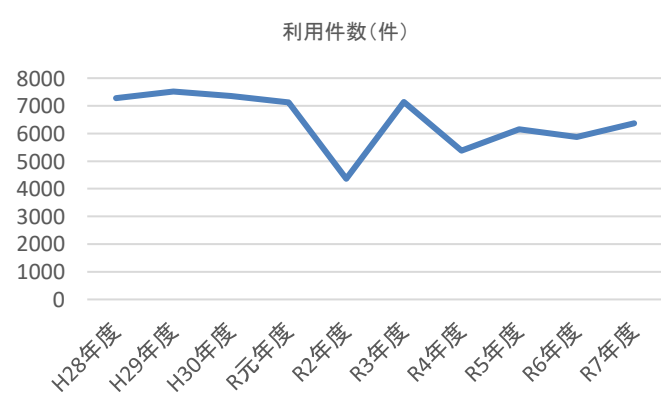
	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	93	94	48	50.4	
	1㎡当たりコスト（円）	17,895	25,504	26,997	31,926	
	開館1日当たりコスト（円）	227,728	324,562	343,551	406,287	
	利用者1人当たりコスト（円）	808	1,145	1,366	1,521	
	区民1人当たりコスト（円）	378	538	570	674	
	受益者負担比率（％）	1	0.0	0.0	0.0	
備考	令和4年度には5年度からの直営化に向けた備品購入や改修工事を行ったことから、工事が無かった令和3年度に比べて利用者一人当たりのコスト等が増加している。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)							
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)	
	利用件数		目標値	6,000	7,000	6,500	6,613	7,100
			実績値	5,381	6,156	5,868	6,370	7,100
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 現状維持		○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● その他(令和5年度より直営化)					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: ~平成15年度 直営 平成16・17年度 委託 平成18年度~ 指定管理) ○ 無							
利用者・地域のニーズ	区民の生涯学習活動の拠点施設として、生涯学習を推進していく必要性は高い。							
現状・課題	○利用者の満足度向上のため、更なる接遇の向上に徹底して取り組んでいく必要がある。 ○老朽化した設備を計画的に修繕する必要がある。 ○区の生涯学習の拠点として様々な生涯学習講座を実施するとともに、地域を支える人材を育成するため、講座内容やサービスを見直す必要がある。							
課題に対する 現時点での考え	○各委託業者と情報共有を細めに行い、利用者が満足できるよう更なる接遇の向上に努める。 ○老朽化した設備の更新など、利用者がより安心して快適に利用できる施設環境を整える。 ○区の生涯学習の拠点として、あらゆる区民が主体的に学習できる環境を整備する。学びを通じて仲間や地域社会と繋がり、自己実現を図れるような学習機会を提供するとともに、地域の担い手育成を目指した講座を実施する。							
議会、利用者等 からの意見	平成30年度 9,11月会議 「体育館への空調設置について」 令和元年度 決特 「コンピューター室におけるPCの性能について」 令和3年度 予特 「生涯学習センターの機能再編について」 令和8年度 6月会議 「利用者の活動場所の確保及び大規模イベントの開催について」							



R4年度は新型コロナウイルス感染症の影響による施設の一部利用制限が無くなり、利用者数が回復傾向にある。



R4年度はR3年度の新型コロナウイルスワクチン接種会場が無くなったことで、利用件数が微減している。

I 施設の概要		施設コード	S05-02-03		
施設名	町屋文化センター				
所在地	荒川区荒川七丁目20番1号				
部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	
	一般財源				
	建築	昭和63年	670,212		
	増改築①				
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	昭和63年9月30日		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和63年11月1日	職員数	0	15	
構造	鉄骨鉄筋コンクリート	階層	3階		
面積	敷地面積	4,137.28 m ²			
	延床面積	2,400 m ²			
設置目的・経緯	多くの区民の学習・文化活動の場を提供し、生涯教育の推進と地域文化の振興を図る。				
関連部署	文化交流推進課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立町屋文化センター条例、同施行規則、荒川区立町屋文化センターの使用の予約に係る手続き等に関する要綱				
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	● トイレ	
駐輪場の状況	80台	対応状況	● 点字ブロック	○ スロープ	



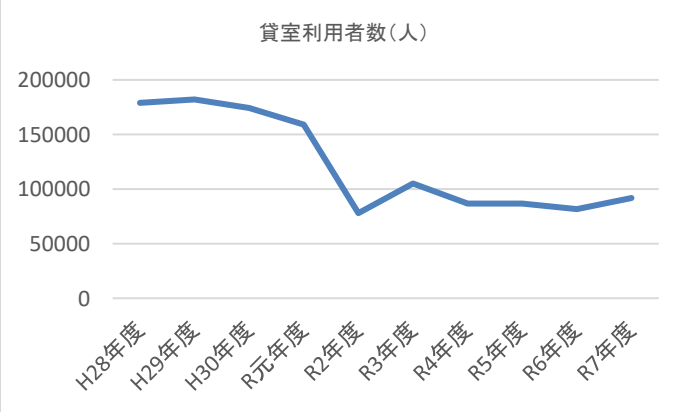
管理形態	指定管理	公益財団法人 荒川区芸術文化振興財団	期間	令和5年4月1日	から	
				令和10年3月31日	まで	
事業内容	文化・カルチャー講座、自主事業（一日文化体験・なないろひろば）等					
対象者	荒川区内在住・在勤・在学者等					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	年末年始、年3回の保守点検日				
施設基本データ等		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
	貸室利用者数（人）	86,572	86,574	81,718	91,893	86,800
	貸室利用件数（件）	4,318	4,598	4,998	5,308	4,970
	貸室ホール稼働率（％）	50	54	59	63	60
	カルチャー講座数（講座）	230	240	326	384	460
	カルチャー講座受講者数（人）	1,544	1,247	1,672	2,008	2,390
	指定管理料（千円）	29,492	43,167	41,142	42,033	42,979
に指定 係等管 理費理	指定管理者の支出合計（千円）	40,627	50,055	51,136	53,740	54,079
	指定管理者の人件費（千円）	20,091	4,396	5,369	5,667	5,904
	指定管理者の利用料金収入（千円）	10,818	10,757	11,337	11,575	11,000
備考	令和5年度から新事業者によりカルチャー講座を開始し、講座数及び受講者数が増加している。また、令和7年度はきっかけづくり事業「なないろひろば」や参加型イベント「町屋カルチャー祭り」と「手づくり市」を融合させた「町屋手づくりいちばん」事業で施設利用を促進し、貸室利用件数、利用料金収入ともに増加した。					

		勘定科目	R6年度	R7年度	差額			勘定科目	R6年度	R7年度	差額	
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0		
		物件費	40,253	43,624	3,371		国庫支出金	0	0	0		
		維持補修費	0	3,091	3,091		都支出金	0	0	0		
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0		
		補助費等	15,068	15,068	0		使用料及び手数料	0	0	0		
		減価償却費	25,534	25,534	0		その他	673	752	79		
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	673	752	79		
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 80,182	▲ 86,565	▲ 6,383		
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0		
		行政費用合計(b)	80,855	87,317	6,462		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 80,182	▲ 86,565	▲ 6,383		
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0					
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 80,182	▲ 86,565	▲ 6,383					
		勘定科目	R6年度	R7年度	差額			勘定科目	R6年度	R7年度	差額	
貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0		
		不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0		
		その他の流動資産	0	0	0		賞与引当金	0	0	0		
	固定資産	有形固定資産	819,161	793,824	▲ 25,337		固定負債	その他の流動負債	0	0	0	
		土地	657,907	657,907	0			退職給与引当金	0	0	0	
		建物	831,887	831,887	0			その他の固定負債	0	0	0	
		建物減価償却累計額	▲ 670,634	▲ 695,971	▲ 25,337			負債の部合計	0	0	0	
		工作物等	0	0	0			正味財産	820,146	794,612	▲ 25,534	
		工作物等減価償却累計額	0	0	0			正味財産の部合計	820,146	794,612	▲ 25,534	
		無形固定資産	0	0	0			負債及び正味財産の部合計	820,146	794,612	▲ 25,534	
		建設仮勘定	0	0	0							
		その他の固定資産	985	788	▲ 197							
	資産の部合計	820,146	794,612	▲ 25,534								
	備考 行政費用では、補助費等としてイーストヒル町屋管理組合の管理・修繕費15,068千円がかかっている。また、令和7年度は防犯カメラの更新及び第3・4会議室防火防音扉修繕を実施したため、維持補修費が3,091千円がかかっている。行政収入では、使用許可団体からの光熱水費752千円の収入があった。											

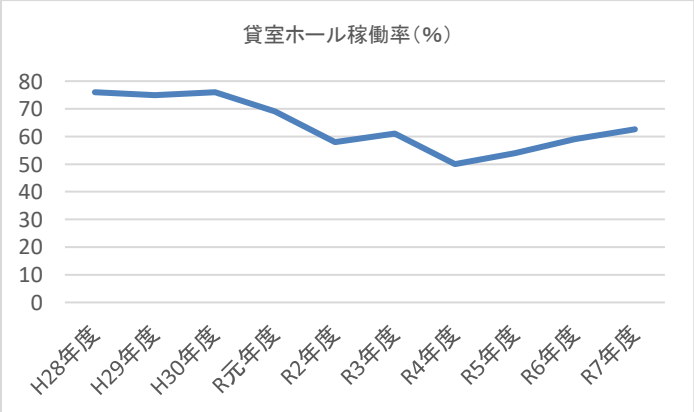
	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	75	78	81	83.7	
	1㎡当たりコスト（円）	29,728	33,327	33,690	36,382	
	人にかかるコストの割合（％）	49	9	10	11	
	開館1日当たりコスト（円）	20,041	22,468	22,712	24,527	
	利用者1人当たりコスト（円）	824	924	989	950	
	区民1人当たりコスト（円）	332	373	377	407	
	受益者負担比率（％）	10	8	9	8.2	
備考						

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無 ○ 有（計画名： ）					
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	利用者数（人）	目標値 実績値	84,700 86,572	66,500 86,574	123,300 81,718	151,600 91,893
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他（ ）					
管理形態の変更の推移	● 有（変更内容：～平成17年度 委託 平成18年度～ 指定管理） ○ 無					
利用者・地域のニーズ	生涯学習等の情報の収集、芸術文化の鑑賞、地域社会での交流					
現状・課題	①老朽化が進んでいる設備及び附帯設備は、より安全で多くの方に利用しやすいと感じてもらえるよう、必要な設備保全に努めていく必要がある。 ②カルチャー講座受講者をはじめ、施設利用者が増加するよう努める必要がある。					
課題に対する現時点での考え	①不具合が生じている設備について、施設の安全性と利便性を高めるため、計画的に修繕を実施していく。 ②カルチャー講座等の利用者獲得の方策を指定管理者と協議し実施していく。					
議会、利用者等からの意見	令和元年度決特 町屋文化センターリニューアルの進捗状況について 令和3年度予特 町屋文化センターリニューアルについて 令和5年度予特 町屋文化センターのカルチャー講座、街なかピアノについて 令和6年度予特 町屋文化センターのカルチャー講座について					



カルチャー講座やその他の施設利用の促進により、令和7年度は前年度と比較して、利用者数が増加した。



一般利用件数やカルチャー講座数等の増加により、貸室稼働率が上昇した。

I 施設の概要			施設コード		S05-02-04		
施設名			清里高原ロッジ及び清里高原少年自然の家				
所在地			山梨県北杜市高根町清里3545番5				
部課名			地域文化スポーツ部生涯学習課				
施設の履歴		時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
				国・都	区債	一般財源	
		建築	昭和58年	810,551	199,563	0	610,988
		増改築①					
		増改築②					
併設施設							
竣工年月日		昭和58年4月15日		区職員	その他		
供用開始年月日		昭和58年4月15日	職員数	0	11		
構造		RC造	階層	2階			
面積		敷地面積	32,322 m ²				
		延床面積	3,999.96 m ²				
設置目的・経緯			区民の健康増進、青少年の健全育成				
関連部署			指導室、学務課				
根拠法令等 設置条例			荒川区立清里高原ロッジ条例、荒川区立清里高原少年自然の家条例、両条例施行規則				
駐車場の状況		約20台	バリアフリー	○エレベーター	●トイレ		
駐輪場の状況		無	対応状況	○点字ブロック	○スロープ		



管理形態	指定管理	株式会社ニッコクトラスト	期間	令和5年4月1日	から
				令和10年3月31日	まで
事業内容	移動教室等の宿泊事業、一般団体及び社会教育関係団体の宿泊、指定管理者自主事業等				
対象者	荒川区内及び山梨県北杜市に在住、在勤、在学者等				
運営時間等	運営時間	—			
	休日	11月上旬～4月下旬			

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
施設基本データ等	一般利用者（人）	1,948	2,314	2,517	2,784	2,927
	学校利用者（人）	5,729	5,367	5,836	5,516	5,573
	合計（人）	7,677	7,681	8,353	8,300	8,500
	施設稼働率（％）	31	36	38	41	38
	開所日数	192	191	192	179	190
に指定管理に係る費用等	指定管理料（千円）	77,292	78,225	83,544	87,786	84,970
	指定管理者の支出合計（千円）	95,006	98,244	95,645	102,641	106,567
	指定管理者の人件費（千円）	23,556	21,443	23,152	26,238	26,987
	指定管理者の利用料金収入（千円）	20,167	20,040	22,558	22,402	24,923

備考	令和5年度に新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことに伴い、令和6年度は利用者数が大幅に増加した。令和7年度は合計利用者数は横ばいであるが、一般利用者数は増加している。指定管理料は電気料金の高騰等の影響により、光熱水費が多くかかっており、指定管理料も年々増加している。

(単位：千円)

		勘定科目	R6年度	R7年度	差額			勘定科目	R6年度	R7年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0	
		物件費	143,194	152,772	9,578		国庫支出金	0	0	0	
		維持補修費	39,452	0	▲ 39,452		都支出金	0	0	0	
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0	
		補助費等	60	22,888	22,828		使用料及び手数料	0	0	0	
		減価償却費	5,848	5,848	0		その他	5,312	7,506	2,194	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	5,312	7,506	2,194	
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 183,242	▲ 174,002	9,240	
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0	
		行政費用合計(b)	188,554	181,508	▲ 7,046		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 183,242	▲ 174,002	9,240	
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 183,242	▲ 174,002	9,240		

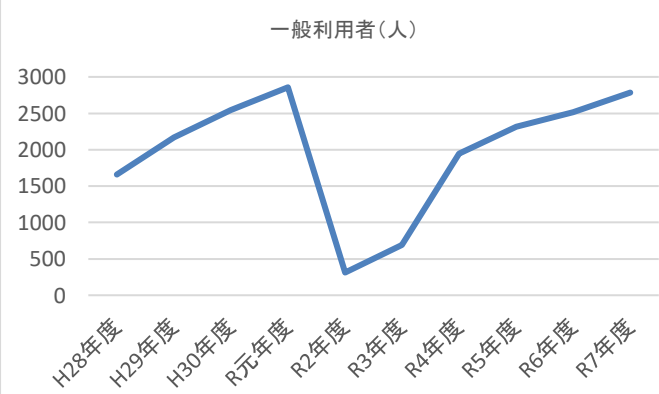
		勘定科目	R6年度	R7年度	差額			勘定科目	R6年度	R7年度	差額
貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0	
	固定資産	有形固定資産	87,912	82,064	▲ 5,848	賞与引当金	0	0	0		
		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0		
		建物	964,287	964,287	0	固定負債	0	0	0		
		建物減価償却累計額	▲ 876,375	▲ 882,223	▲ 5,848	特別区債	0	0	0		
		工作物等	94,259	94,259	0	退職給与引当金	0	0	0		
		工作物等減価償却累計額	▲ 94,259	▲ 94,259	0	その他の固定負債	0	0	0		
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0		
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	87,912	82,064	▲ 5,848		
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	87,912	82,064	▲ 5,848		
		資産の部合計	87,912	82,064	▲ 5,848	負債及び正味財産の部合計	87,912	82,064	▲ 5,848		

備考	行政費用では、指定管理者への委託料87,786千円を含む物件費が多くかかっているほか、営繕工事等の実績がないため維持補修費は皆減となった。補助費等の増は、移動教室に関連する保護者負担軽減費用によるものである。
----	--

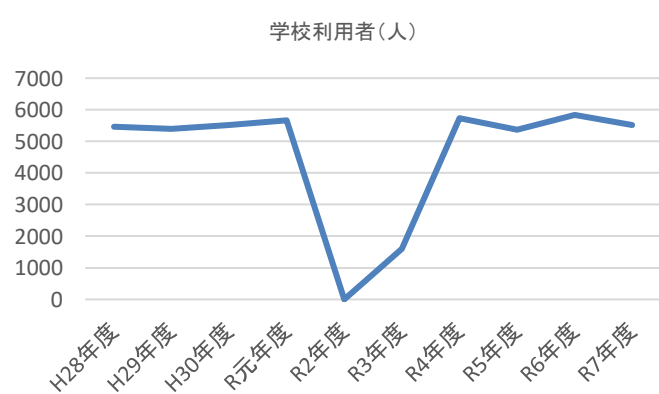
	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率	91	91	92	92.2	
	1㎡当たりコスト(円)	32,478	31,736	47,139	45,377	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	25	22	24	25.6	
	開所1日当たりコスト(円)	676,620	664,618	982,052	1,014,011	
	利用者1人当たりコスト(円)	16,922	16,527	22,573	21,868	
	受益者負担比率(%)	14	14	11	11.4	
備考	指定管理費の人件費の増により、人にかかるコストの割合が増加した。					

Ⅳ 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	一般利用者数(人)	目標値	2,524	2,450	2,416	2,259	2,927
		実績値	1,948	2,314	2,517	2,784	2,927
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()						
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: ~平成17年度 委託 平成18年度~ 指定管理) ○ 無						
利用者・地域のニーズ							
現状・課題	○開設から40年以上が経過しており、外壁や屋外排水設備等の施設修繕及び設備更新を計画的に行う必要がある。 ○令和3年度に変更した指定管理者で令和5年度から5年間の指定期間で更新したが、引き続き利用者が満足できる施設運営を行う必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○優先度の高い設備改修を実施するとともに、今後も必要な修繕等を指定管理者と協議し、対応していく。 ○引き続き、利用者アンケート等を活用し、収集した意見、ニーズを捉えつつ、優先順位等を踏まえて対応を検討する。						
議会、利用者等からの意見	○平成29年度 予特 自然体験や文化芸術の合宿等での活用について ○平成30年度 決特 冬季開設について ○令和3年度 決特 ランニング合宿について ○令和7年度 決特 移動教室昼食、エアコン設置、冬季利用、ウォシュレット設置状況						



令和4年度以降、特に令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類移行に伴い、感染拡大前の実績までほぼ回復している。



令和4年度以降は、新型コロナウイルス感染拡大前と同様の内容で移動教室を実施できたため、感染拡大前と同程度の学校利用者数となっている。